

道内の感染状況等（道案）に対する主な意見

有識者・専門家等の意見

- 1 新規感染者数は減少傾向にあるが、10万人当たりの数は国のステージⅣを大きく上回っていることから、引き続き対策の手を緩めることなく、特に若年層の危機意識の醸成に工夫を凝らしていただきたい。
- 2 感染状況等の評価について異論なし。
今後の対策として、事業所や学校での集団感染を確実に抑えていくことが重要。特に事業所では経営者及び衛生管理者が明確な対応方針を予め示し、職員に周知徹底しておくことが大切。発熱など症状が現れた場合にはただちに出勤を停止し、業務が継続できる体制を構築して、安心して療養に専念できるような職場環境づくりの啓発が必要。
- 3 学校、特に、私立学校、幼稚園や保育所へ重点的に対策を強化すべき。早急に、願います。
- 4 資料情報に関しては、特段の異議・意見はなし。
ピークアウトしたとの認識もあるが、今後、子供たちの学校再開で家庭内感染が増えないことを願う。
人流は、緊急事態宣言が発出されても下がらないことが明らかで資料からも読み解ける。コロナワクチン接種数を増やし、Withコロナで対応するためにも、個々の自覚、危機意識を増やしていただくしかないか考える。
旭川市は、第4波より、第5波の感染者数が多かったことが、全体の数値とは違う状況であり、原因は何かを推測することは興味深いと思っている。
- 5 新規感染者数はピークを過ぎたように見えるが、いまだに高水準である。少しでも早くワクチン接種が進んだ方が良いと考える。ワクチンの供給を宜しく願います。